

# 浜松湖北高校 栽培したミカンをこども園で販売！



## おいしいミカン いかが？

浜松湖北高生 東区のこども園で販売



ミカンやパウンドケーキを販売する生徒たち＝浜松市東区のおそびこども園浜松で

浜松湖北高校（浜松市北区）の農業科と商業科の生徒八人が二十五日、校内の農園で栽培したミカンなどを東区の認定こども園「あそびこども園浜松」で保護者たちに販売した。

同校では例年、ミカンを校内や地元のドラッグストアなどで販売してきた。ミカンをあまり食べない若い世代においしさを伝えようと、二十～三十代の保護者が送り迎えに来るこども園に注目。

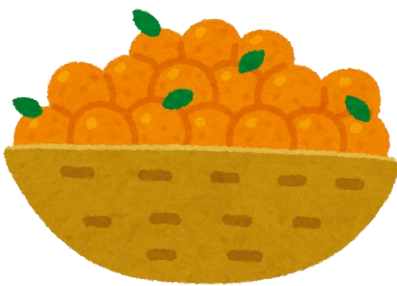
社会貢献活動に力を入れている燃料販売会社「エネジン」（中区）の仲介で出

張販売が実現した。

生徒たちは、三種類のミカンが入った百五十袋を用意。米粉を使ったオリジナル商品のパウンドケーキとともに販売した。濃い紅色をしたミカン「小原紅早生」の珍しさなどにひかれ、多くの保護者たちが買い求めていた。

三年生の高野萌さん（ひん）さんは「想像以上にたくさんのお客さんが来てくれた。自分たちが育てたり、開発したりした商品に興味を持ってもらえてうれし」と笑顔で話していた。

（小佐野慧太）



中日新聞に、浜松湖北高校のミカン販売の様子が掲載されました。毎年、高校生の取材授業をさせていただいている浜松湖北高校の生徒さんがあそびこども園さんで、校内の農園で栽培したミカンなどの販売を行った様子です。普段ミカンをあまり食べない世代に向け、ミカンの美味しさを伝えようという取り組みです。エネジンは、こども園さんとの繋がりを少しだけお手伝いさせていただきました。今後も、地域の皆様に向けてお役立ちできる活動をしていきます。

令和4年(2022年)11月27日(日)

中日新聞

